



SMART MEDIA COMPANY

2025年2月期 通期4Q 決算説明資料

株式会社エディア

証券コード：3935

2025年4月14日



企業コンセプト

SMART MEDIA COMPANY

人々の生活に笑顔をもたらすサービスを創造し続けます。

決算概要	(百万円)	2024年2月期 通期	2025年2月期 通期	対前年同期比 増減率
	連結売上高	3,277	3,607	+ 329 + 10.1%
	連結営業損益	161	262	+101 +62.6%
連結売上高・連結営業損益共に過去最高の結果 主力のオンラインくじサービス、電子書籍等の売上高が増加し、対前年同期比で増収 売上構成の変化により高利益率の売上高が増加、利益率が向上し、対前年同期比で大幅増益				
事業概要	IP事業	前期に引き続き、オンラインくじサービス『まるくじ』『くじコレ』の売上が好調		
	出版事業	電子書籍の売上が好調 ラノベ・コミックともに順調に作品数を積み上げる		

目次

2025年2月期通期 決算概要

2025年2月期通期 各事業の概要

2025年2月期4Q 決算概要

2026年2月期 成長戦略

参考資料

2025年2月期 通期連結業績ハイライト

- オンラインくじサービス、電子書籍等の売上高が増加し、対前年同期比で増収
- 売上高構成の変化により利益率が向上し対前年同期比で増益

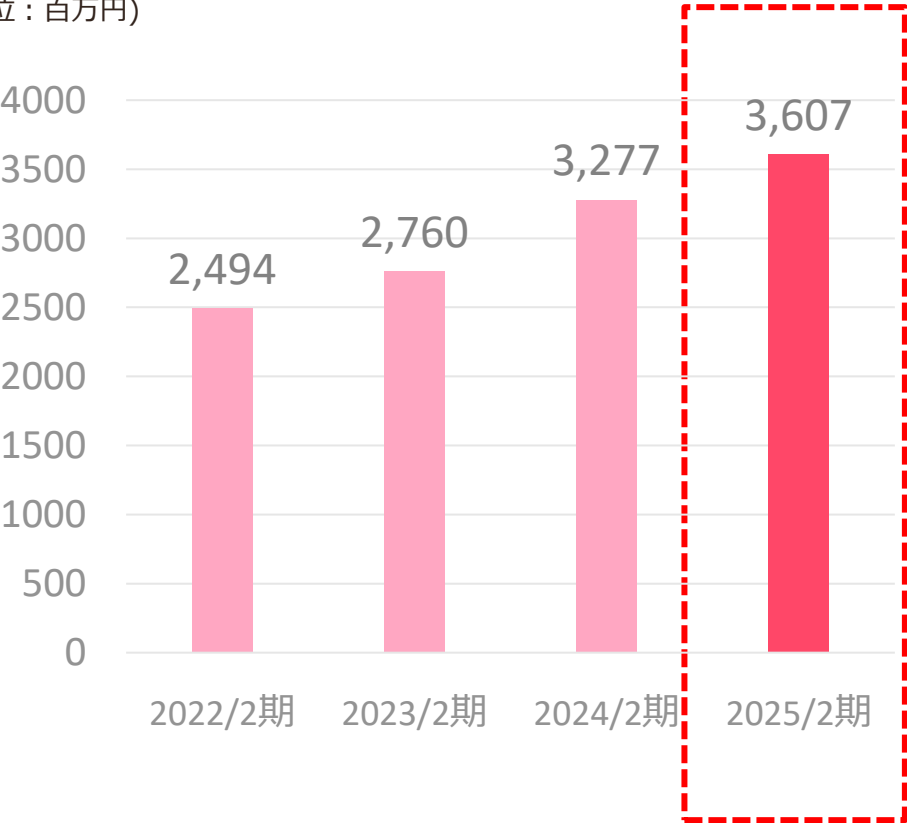
損益区分 単位：百万円	2024年2月期 通期	2025年2月期 通期	対前期比 増減	対前期比 増減率
売上高	3,277	3,607	+ 329	+ 10.1%
売上原価	1,462	1,520	+ 57	+ 3.9%
売上総利益	1,814	2,086	+272	+15.0%
販売費及び 一般管理費	1,652	1,823	+170	+10.3%
営業損益	161	262	+101	+62.6%
経常損益	158	237	+78	+49.7%
親会社に帰属する 当期純利益	150	234	+ 83	+ 55.9%

通期連結売上高・営業損益及び年度推移

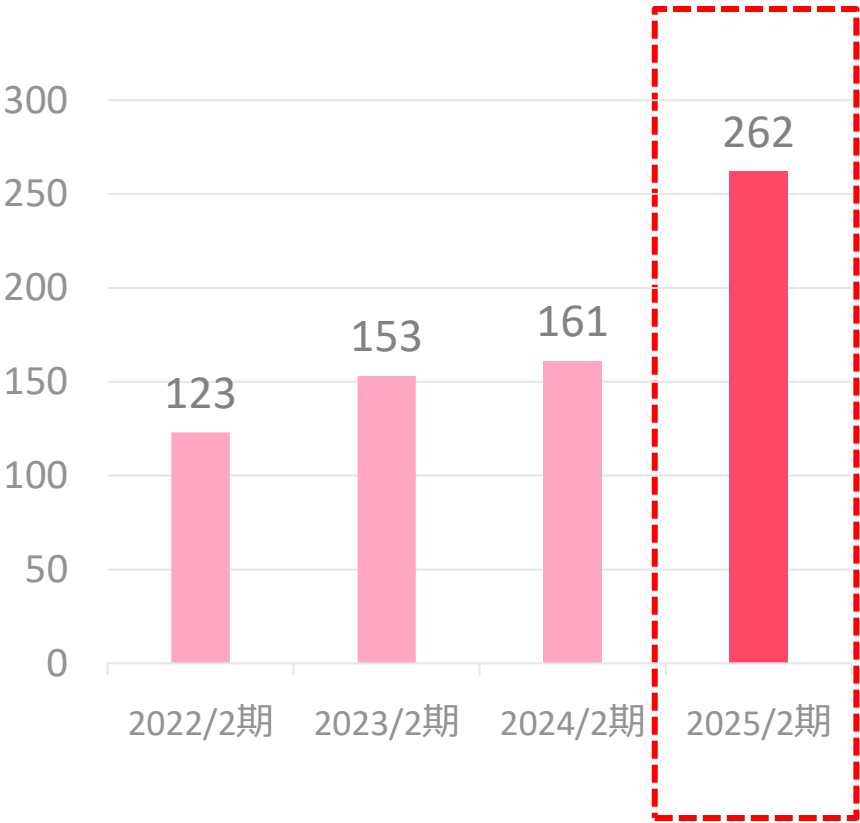
- オンラインくじサービス・電子書籍が継続的に成長し、売上が増加
- 安定した利益創出体制を継続

通期連結売上高

(単位：百万円)



通期連結営業損益



連結財政状態ハイライト

- 自己資本比率健全水準維持
- 次の成長投資に向けて十分な現預金を確保

BS項目 単位：百万円	2024年2月 期末	2025年2月期 期末	増減	増減要因等
現金預金	1,415	1,767	+352	利益計上による増加
流動資産	2,227	2,700	+472	現金預金・仕掛品の増加
固定資産	173	297	+123	ゼロディブ社取得による増加 繰延税金資産の計上による増加

流動負債	875	1,135	+259	借入による増加
固定負債	383	491	+107	借入による増加
純資産	1,142	1,371	+228	利益計上による増加
総資産/ 負債純資産	2,401	2,997	+595	

流動比率	254%	238%	△17%	
自己資本比率	47%	45%	△2%	

目次

2025年2月期通期 決算概要

❖ 2025年2月期通期 各事業の概要

2025年2月期4Q 決算概要

2026年2月期 成長戦略

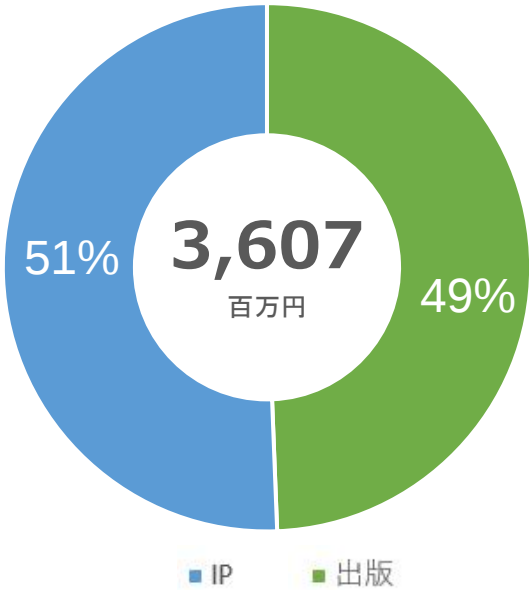
参考資料

エディアグループ 事業ポートフォリオ

■ IP・出版2つの事業を軸に、総合エンターテインメントを提供

IP事業	■ ゲームサービス運営 ■ ライフエンターテインメントサービス運営 ■ 音楽・ドラマCD、グッズ・イラスト集の企画、編集、販売 ■ 自社の持つ知的財産(作品)の国内外向けライセンスアウト・アニメ化 ■ アプリ・ゲーム・システム開発受託 ■ イベント・音楽制作受託等
出版事業	■ ライトノベル・コミック・画集の企画、編集、出版 ■ 電子書籍・電子コミックの販売

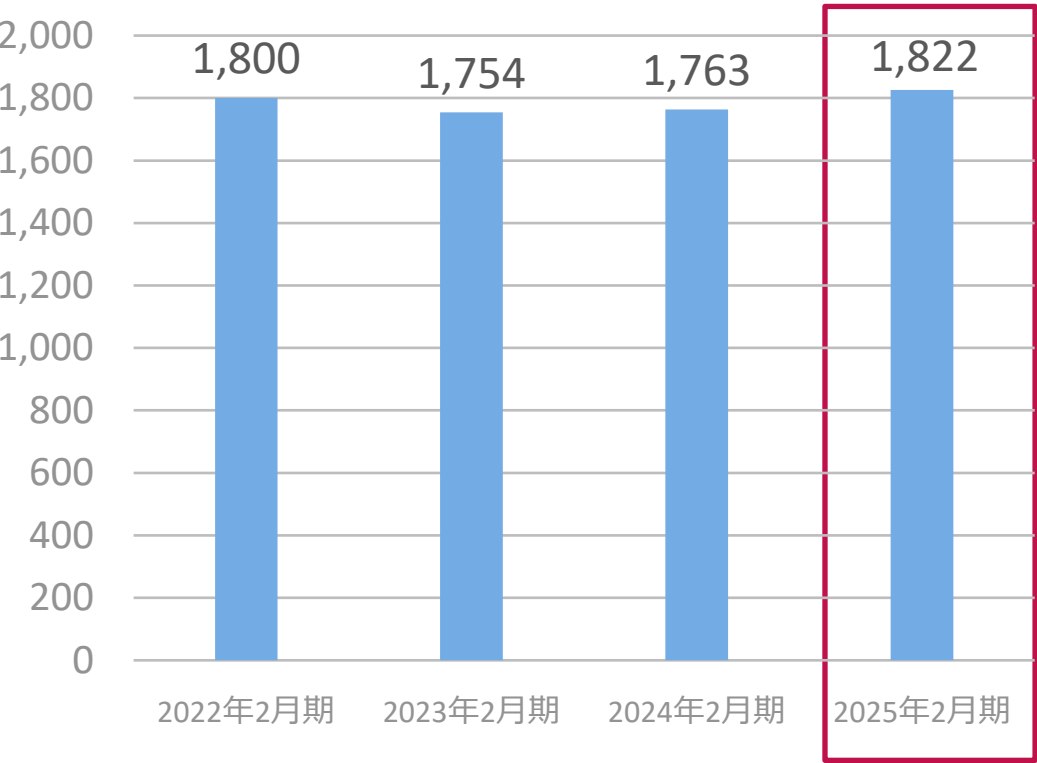
2025年2月期 通期
事業別売上高構成比



IP事業 通期トピックス

■ IP事業 売上高年度推移

(百万円)



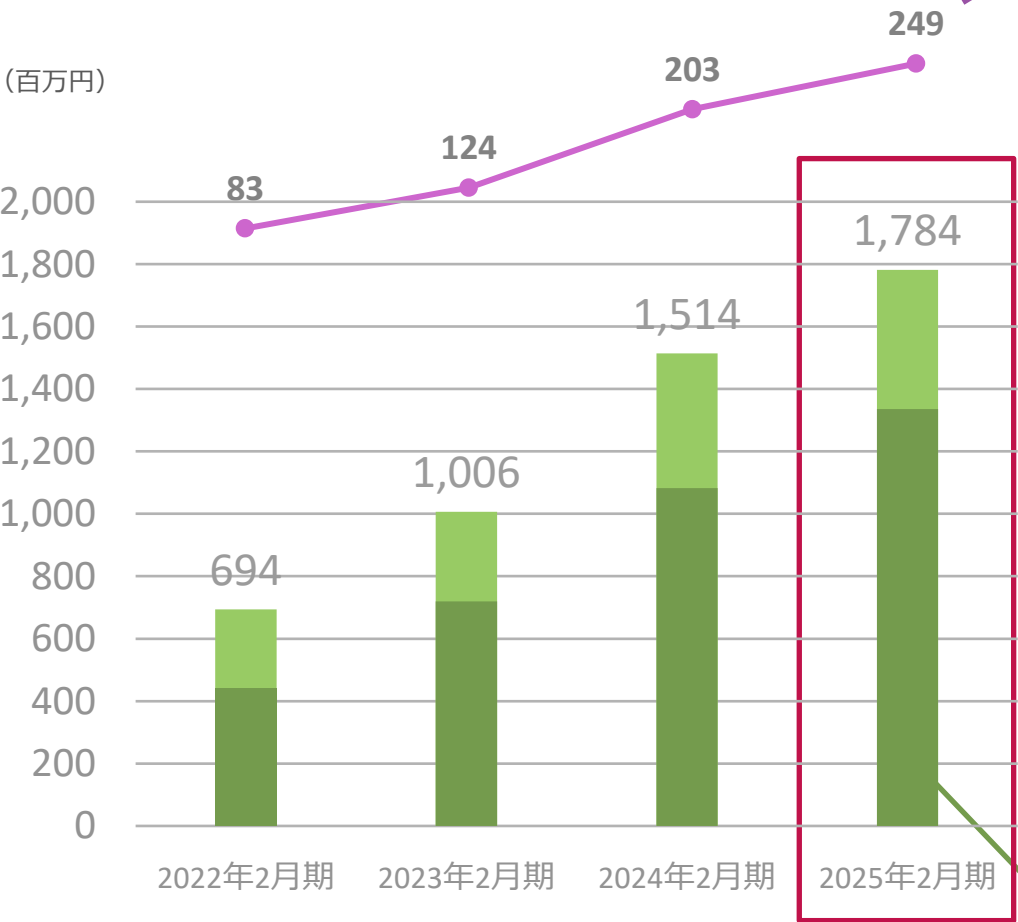
オンラインくじサービス、コンシューマーゲーム好調

- 人気IPとのコラボによりオンラインくじサービスの売上が大幅増加
- コンシューマーゲーム販売も堅調に推移

※コンシューマーゲーム：家庭用ゲーム機でプレイできるゲーム

出版事業 通期トピックス

■ 出版事業 売上高年度推移



ラノベ・コミック作品数

新刊数増加により出版事業売上高が拡大

- ラノベ・コミック・電子書籍ともに新刊数増加傾向を維持
- 新ジャンルへの挑戦・新レーベルの立ち上げによりターゲット層を拡大
- WEBマガジン創刊によりタイトルの露出機会を増大

電子書籍売上

目次

2025年2月期通期 決算概要

2025年2月期通期 各事業の概要

 **2025年2月期4Q 決算概要**

2026年2月期 成長戦略

参考資料

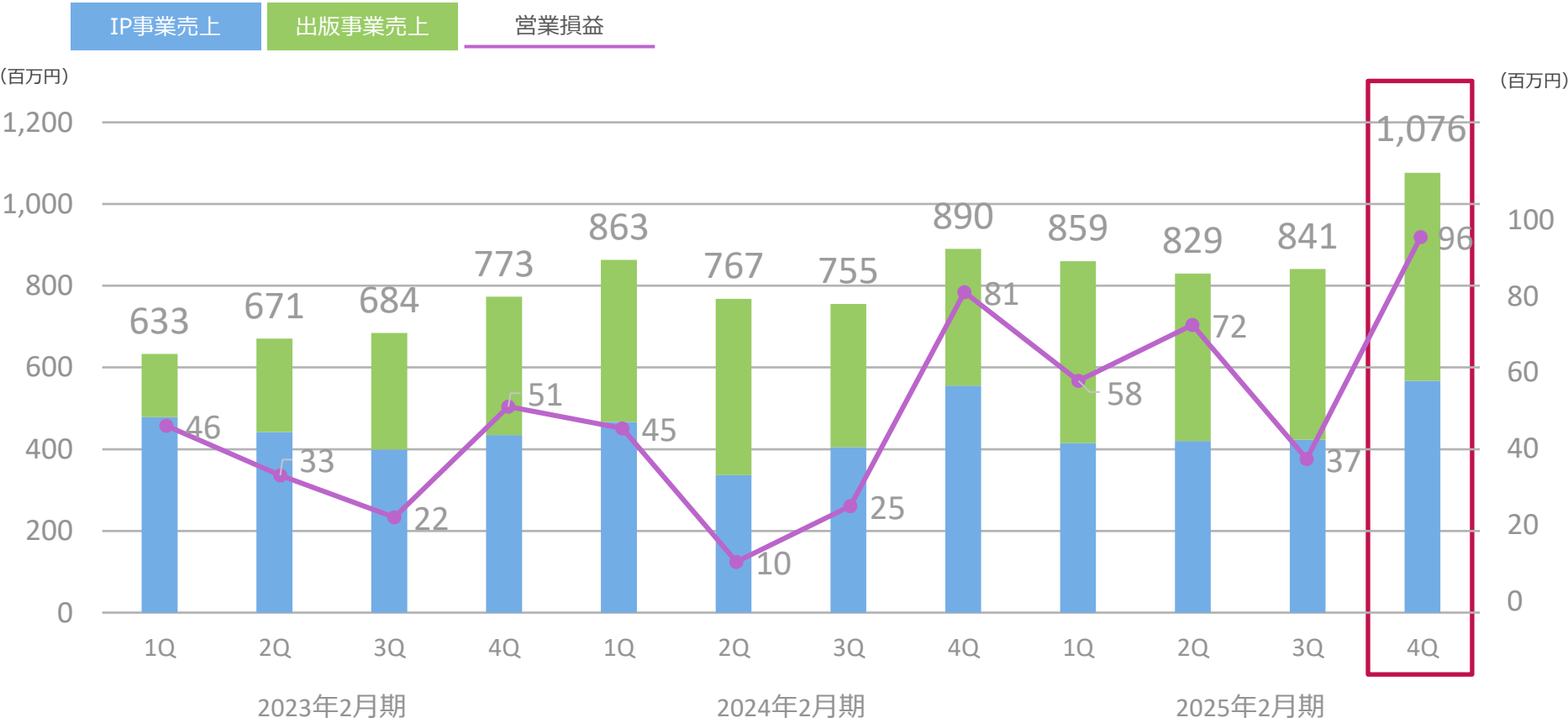
事業別ハイライト

■ 成長戦略及び具体的な戦略に基づき迅速な意思決定を実施し、スピード感あるグループ経営を推進

事業	サービス	2025年4Q実績	2026年1Q以降の展開
IP事業	ゲームサービス	■ Nintendo Switch™用ゲーム『超兄貴 COLLECTION』発売 ■ Nintendo Switch™用ゲーム『コズミック・ファンタジーMemorial Collection』発売	■ レトロゲームタイトル復刻PJ進行 ■ 新作女性向けゲームタイトル制作進行
	ライフエンターテインメントサービス	■ 『MAPLUSキャラdeナビ』人気キャラチェンジセットのセールを実施	■ 「MAPLUSキャラdeナビ」人気声優のキャラチェンジセットリリース予定
	音楽レーベルサービス	■ ドラマCDシリーズ『DIG-ROCK』『花笑む彼と』新作発売	■ 『DIG-ROCK』シリーズ他ドラマCDの続編をリリース予定
	グッズサービス	■ 『くじコレ・まるくじ』にてTVアニメ『呪術廻戦』や『東京リベンジャーズ』他オリジナルグッズが当たるくじを販売	■ 人気IPのくじ・グッズを販売 ■ グッズ販売サービスの国内外販路拡大
	IPライセンスアウト	■ レトロゲームタイトルを国内外へライセンスアウト ■ Nintendo Switch™用乙女ゲーム『花笑む彼と & bloom』の北米版及びSteam版が発売	■ 海外へのライセンスアウト案件継続中
出版事業	ライトノベル・コミック 電子書籍他	■ 一二三書房 × indent『第1回 サーガフォレスト・ブレイブ文庫編集部 小説大賞』コンテスト開催 ■ 「次にくるライトノベル大賞2024」にて『オルクセン王国史』が単行本部門で3位を受賞	■ 人気ライトノベルの続巻やコミック版を発売

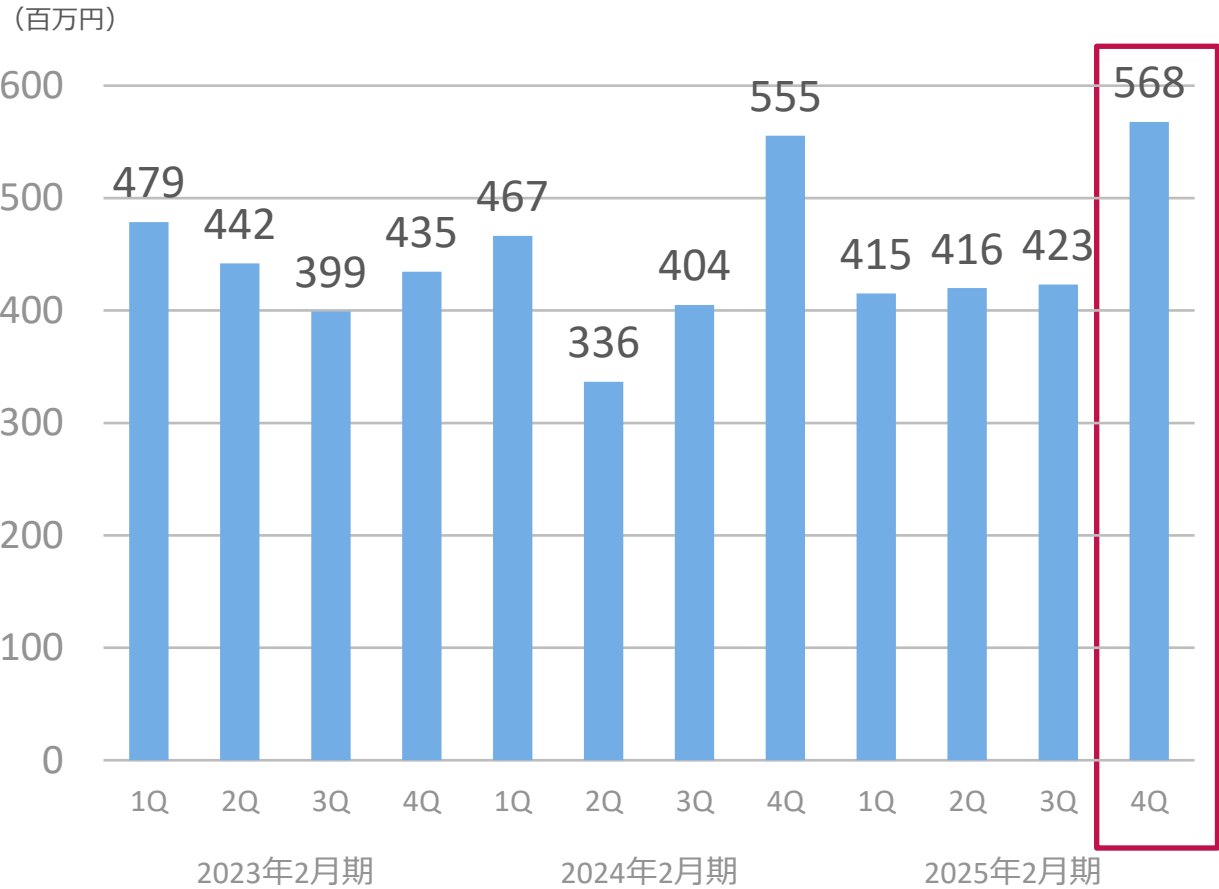
連結売上高及び連結営業損益の四半期推移

- 四半期でも売上高・営業損益ともに過去最高の結果
- まるくじ等のオンラインくじサービスが好調で4QのIP事業売上高・利益は共に増加
- 出版事業は電子書籍が好調で、QonQで増収



IP事業 4Qトピックス

■ IP事業 売上高及び四半期推移



オンラインくじサービスが引き続き好調

- オンラインくじサービスは人気IPを継続的に提供することにより安定的に高い売上を計上
- コンシューマーゲーム販売も堅調

ゲーム

■ Nintendo Switch 用ソフト発売



Nintendo Switch向けゲーム『超兄貴COLLECTION』を発売

今作では、シリーズの第1作目『超兄貴（PCエンジン）』と第2作目『愛・超兄貴（PCエンジン）』をNintendo Switch向けに完全移植。リリース当時のPCエンジン版の雰囲気や手触りをそのまま再現しつつ、「サウンドモード」「ビジュアルモード」「巻き戻し機能」など、以前からのファンの皆様のみならず、現代のゲームファンにも幅広く楽しんでもいただけるような機能を追加した、レトロゲームファン&シューティングゲームファン必携の一本となっております。



Nintendo Switch向け乙女ゲーム『花笑む彼と & bloom』の英語版を発売

Switch向け乙女ゲーム『花笑む彼と & bloom』の英語版を、北米向けにNintendo Switch/Steamプラットフォームにて発売しました。北米における販売元は、イギリスに本社を置く PQube Ltd. 社が担います。

オンラインくじサービス、グッズ

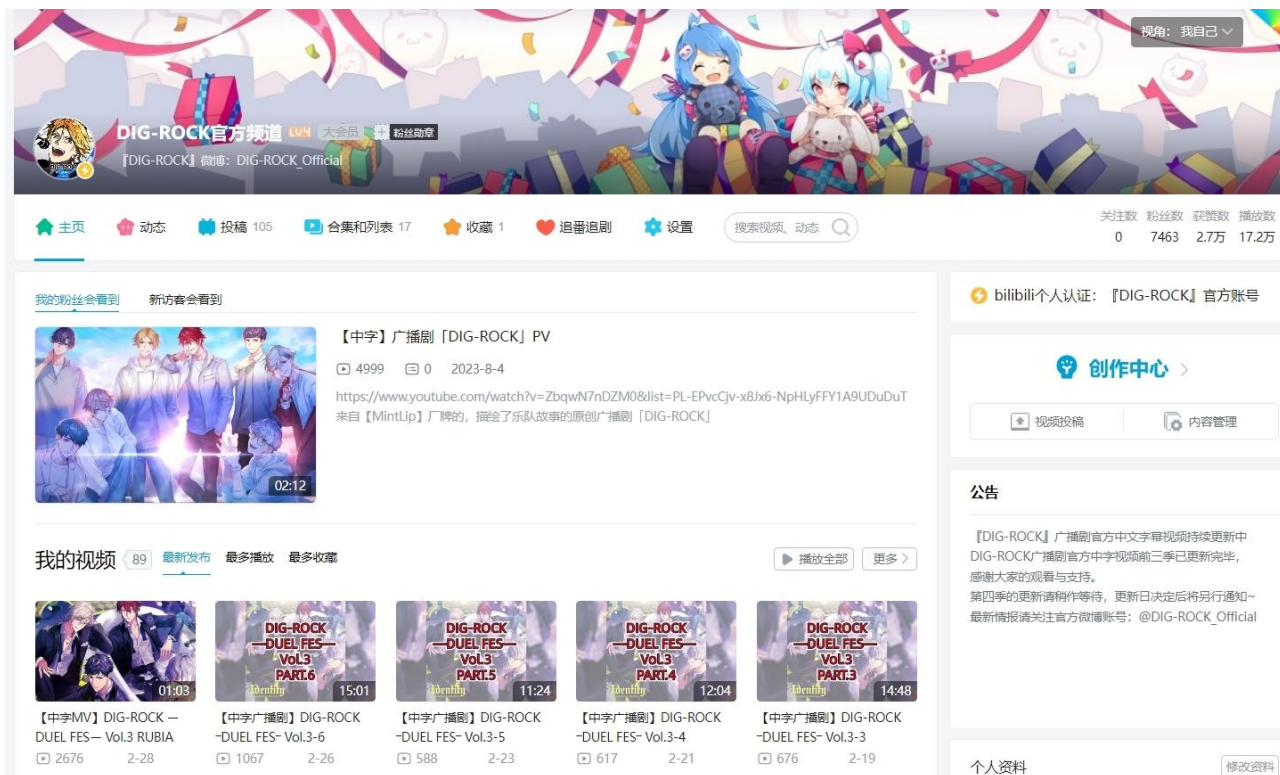
- 『くじコレ・まるくじ』の人気IPとのコラボによりグッズ販売好調



- 『くじコレ』及び『まるくじ』はインターネット上で購入可能なハズレなしの抽選クジサービス
- 地域や時間を選ばず国内全てのファンの方が購入可能

中国子会社 上海艺钻文化创意有限公司

- 中国国内への IP 及び出版コンテンツ配信及びグッズ販売の強化を目的として設立
- オリジナルグッズのEC展開からスタート



現在

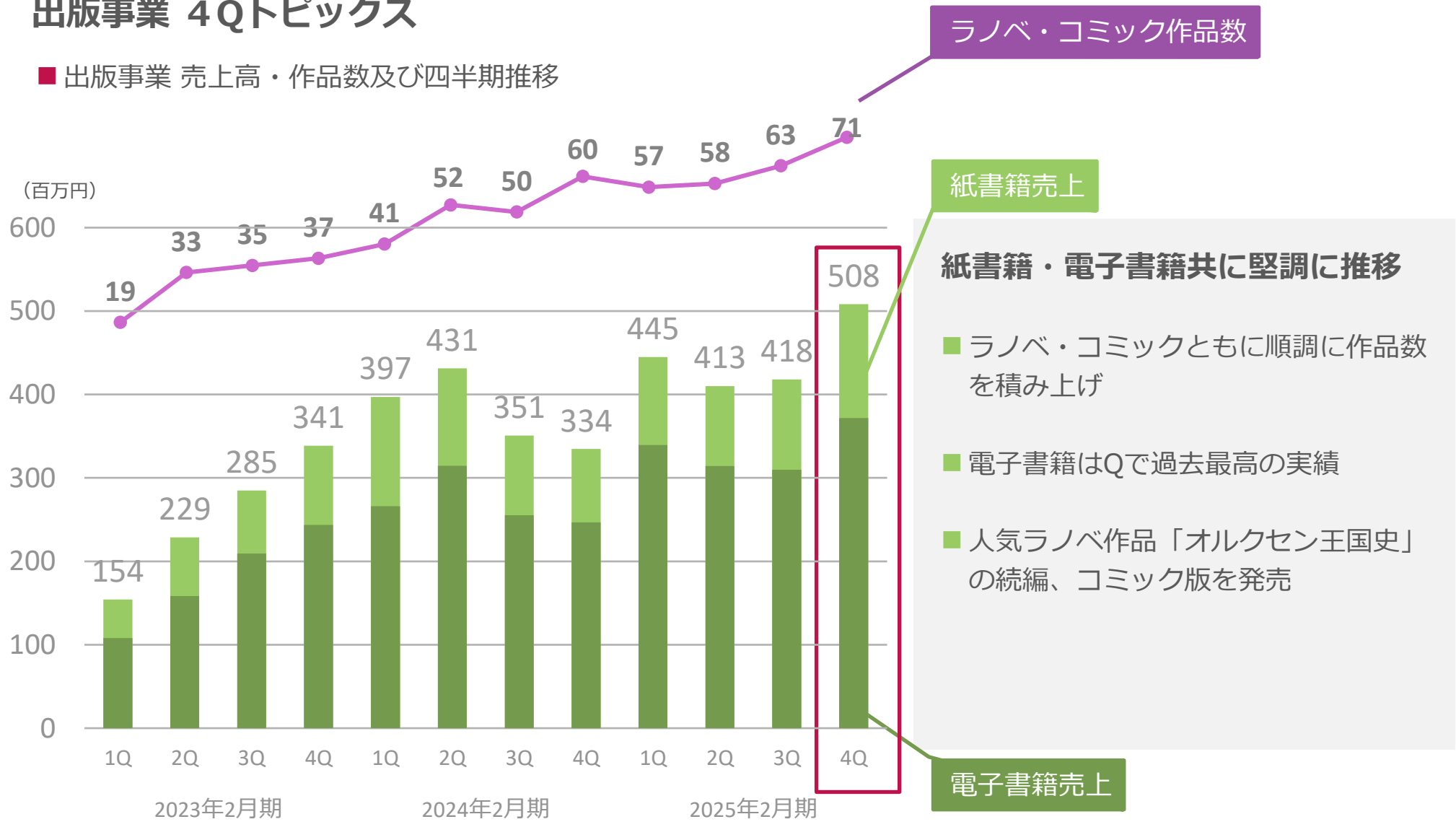
- Bilibili・Weibo 内の公式アカウントにて「DIG-ROCK」のプロモーション活動を展開中

今後の予定

- オリジナルグッズのEC展開
- ドラマCD・音楽CDの中国PF配信
- オリジナルコミック・ラノベの中国PF販売

出版事業 4Qトピックス

■ 出版事業 売上高・作品数及び四半期推移



ライトノベル・コミック

■人気ライトノベルの続巻やコミック版を発売



ウィル様は今日も魔法で遊んでいます。 9 (ライトノベル)

ソーキサス帝国に対する白の教団の陰謀を打ち砕いたウィルたち。
攫われた子どもたちの奪還には成功したものの、魔獣の氾濫が帝都へと迫っていた。
ウィルの魔法をもってしても魔獣の氾濫に対抗しきれない。
その現実に関心悩むウィルだったが、自身に語りかける謎の声が聞こえてきて――。



オルクセン王国史～野蛮なオークの国は、如何にして平和なエルフの国を焼き払うに至ったか～ 3 (コミック)

「銃と魔法」の時代。「平和な」美しいエルフの国で白エルフからの虐殺にあったダークエルフ族氏族長、ディネルース。彼女はダークエルフ族で編成されたオルクセン国軍アンファンングリア旅団長となる。そして、グスタフの寵愛を一身に受ける「王の女」にも…。

目次

2025年2月期通期 決算概要

2025年2月期通期 各事業の概要

2025年2月期4Q 決算概要

 **2026年2月期 成長戦略**

参考資料

IP事業 2026年2月期1Q以降の取組み

■新作ゲームやドラマCD、オンラインくじを販売

ゲームサービス

1Q 2タイトル発売

3月発売



5月発売



音楽レーベルサービス

1Q 2タイトル発売予定

4月発売



5月発売



グッズサービス

1Q 36タイトル発売予定

3月発売



4月発売



出版事業 2026年2月期1Q以降の取組み

■ 人気ライトノベルの続巻やコミック版を発売

ライトノベル

1Q 16タイトル発売予定

3月発売



4月発売



コミック

1Q 29タイトル発売予定

3月発売

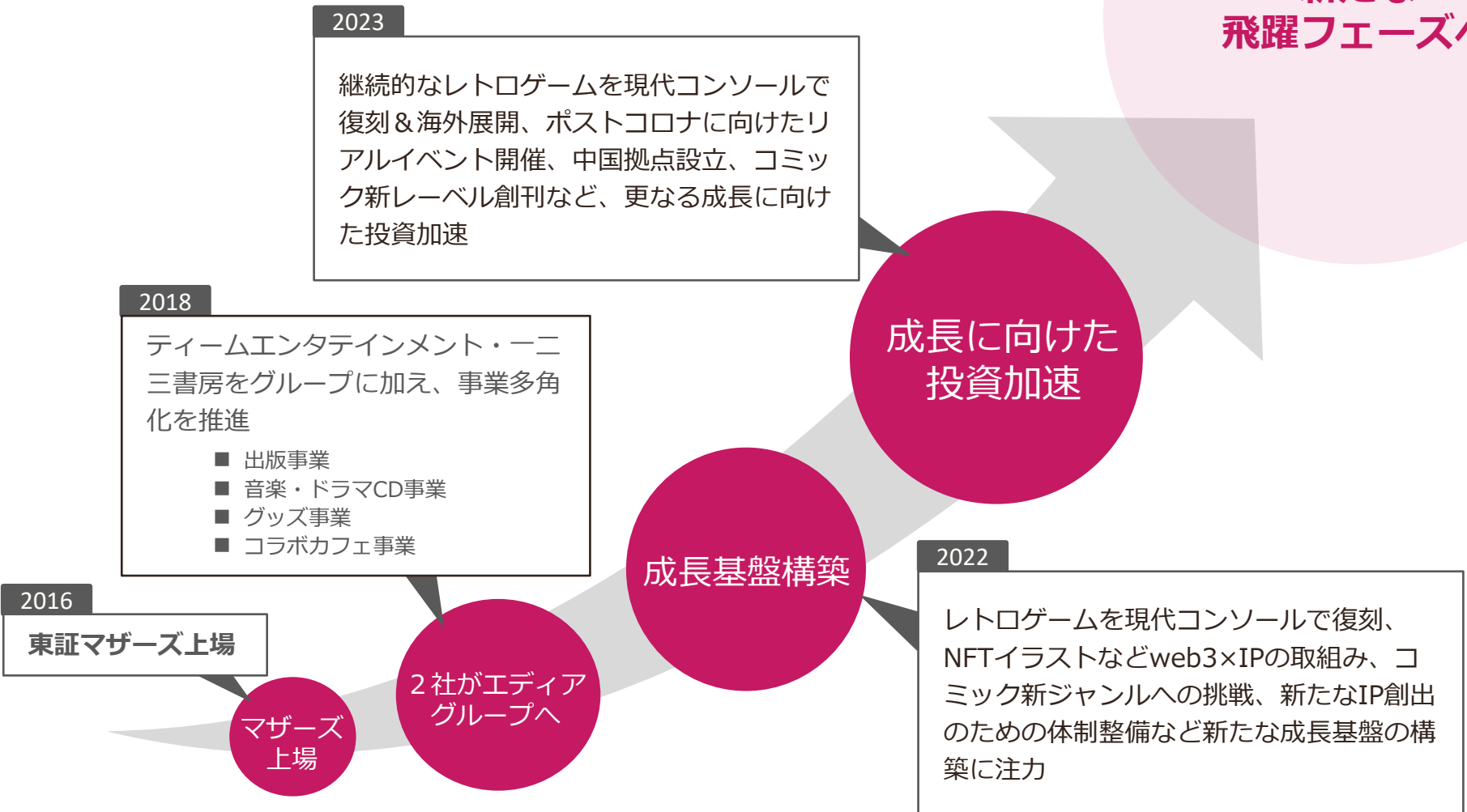


4月発売



注力事業の飛躍フェーズ、2事業の深耕・拡大へ

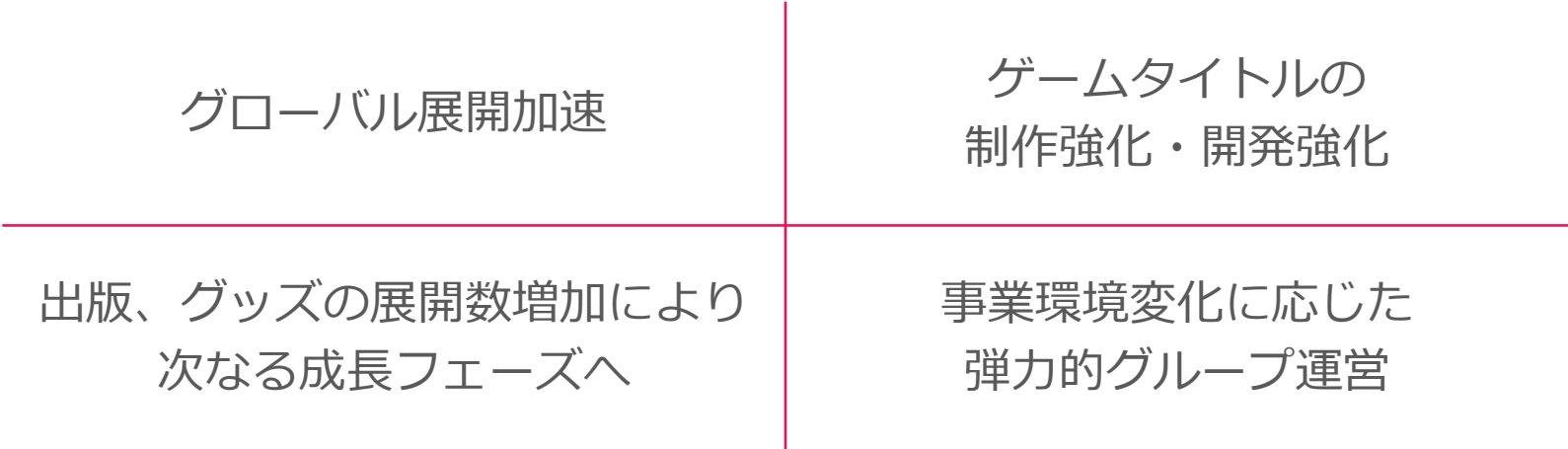
2026年2月期、エディアグループは更なる成長フェーズ突入



エディアグループ成長戦略基本方針

中長期経営 ビジョン	総合エンターテインメント企業としての躍進を目指す
中期経営目標	ゲーム、コミック、グッズを中心にクロスメディア展開を加速させ、 事業の多角化と収益力向上を狙う

2026年2月期 成長戦略基本方針

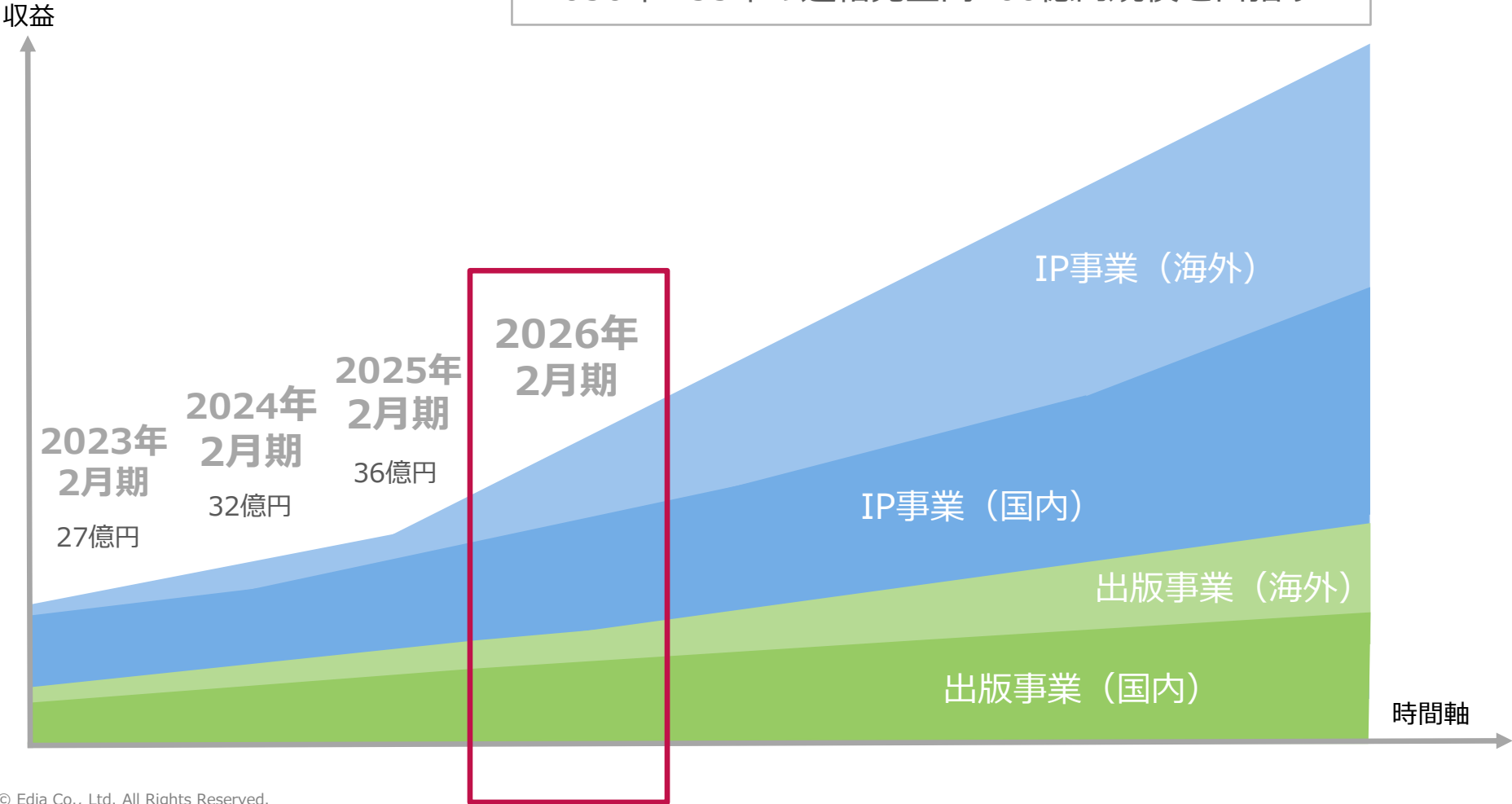




2事業の成長軸

- 出版事業で安定成長確保、IP事業で大きく成長
- 経営資源投資の選択と集中もこの成長軸に合わせて実施

2030年~33年の連結売上高100億円規模を目指す！



2026年2月期 通期業績予想

- オンラインくじサービスの事業拡大により売上高・利益が拡大
- 電子コミック事業の作品数拡大により売上高・利益が拡大

損益区分等 単位：百万円	通期業績 (2025年2月期)	通期業績予想 (2026年2月期)	増減/増減率
売上高	3,607 (100.0%)	4,000 (100.0%)	+392 +10.9%
営業損益	262 (7.3%)	350 (8.8%)	+87 +33.2%
経常損益	237 (6.6%)	340 (8.5%)	+102 +43.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	234 (6.5%)	250 (6.3%)	+15 +6.8%
1株当たり 当期純利益	38円17銭	40円33銭	
配当予想	7円	10円	

※中国子会社は年間を通じての業績予想が不透明であること、当面は非連結子会社とすることから、本業績予想において反映しておりません。

目次

2025年2月期通期 決算概要

2025年2月期通期 各事業の概要

2025年2月期4Q 決算概要

2026年2月期 成長戦略

 参考資料

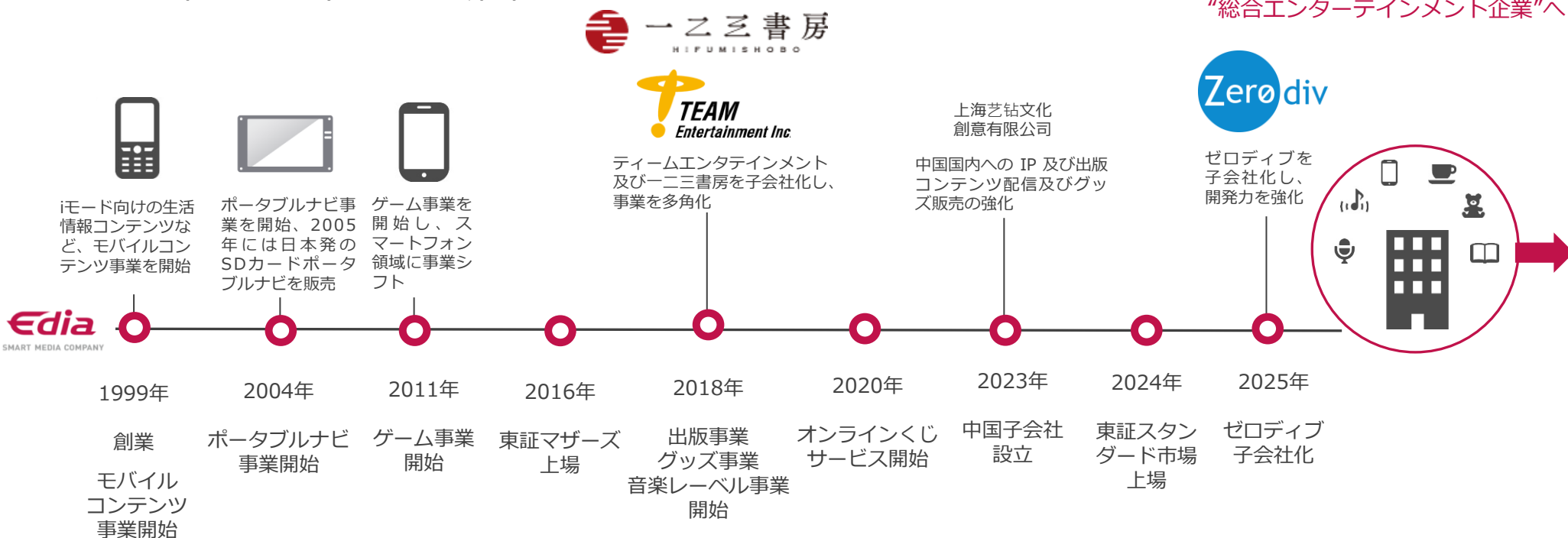
会社概要

会社名	株式会社エディア		
代表者	代表取締役社長 賀島 義成		
所在地	東京都千代田区一ツ橋2-4-3 光文恒産ビル		
設立	1999年4月		
上場	2016年4月	東証マザーズ上場（証券コード：3935）	
	2022年4月	東証グロース市場へ移行	
	2024年10月	東証スタンダード市場へ市場変更	
事業内容	IP事業 出版事業		
グループ会社	株式会社ティームエンタテインメント （音楽レーベル事業・グッズ事業） 株式会社一二三書房 （出版事業） 株式会社ゼロディブ （コンシューマーゲームソフトウェアの開発） 上海艺钻文化创意有限公司 （海外IP事業）		

沿革

- 時代や市場の変遷にあわせて事業領域を拡大
- 2018年よりティームエンターテインメント、一二三書房が加わりグループ経営へ移行
- 2023年 中国子会社 上海芝罘文化創意有限公司 設立
- 2025年 ゼロディブを子会社化

“総合エンターテインメント企業”へ



本資料は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらおよび戦略に関する記述等は、本資料作成時点における当社の予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらと異なる結果を招き得る不確実性がありますことを、予めご了承ください。

それらリスクや不確実性には、当社の関係する業界ならびに市場の状況、国内および海外の一般的な経済動向および市場環境、その他の要因が含まれます。

また、本資料に記載している情報に関して、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん等によって生じた障害等に関し、事由の如何を問わず一切責任を負うものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事があった場合でも、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。